

2010 年度 第 2 回水工学委員会幹事会 議事録

日時： 2010 年 10 月 5 日(火) 13:00-14:00

場所： 土木学会講堂

出席者： 中川 一(委員長)，寶 馨(副委員長)，関根正人(幹事長)，田中昌宏(編集幹事長)，朝位孝二，泉 典洋，井芹 寧，江種伸之，大串浩一郎，大槻英樹，岡田将治，風間 聡，門田章宏，川池健司，河原能久，木内 豪，里深好文，田中規夫，藤堂正樹，中北英一，西村達也，早川 博，原田守博，檜谷 治，藤田光一，藤田正治，藤田裕一郎，矢島 啓，矢野真一郎，渡邊康玄，大石 哲，大久保賢治，坂井伸一，坂本 康，玉井昌宏，知花武佳，富永晃宏，西田修三，山坂昌成，陸 旻皎 [以上，水工学論文集編集小委員会出席者；敬称略]

議題：

《報告事項》

1. 2010 年度水工学に関する夏期研修会 (神戸大学)について (藤田一郎幹事)

8 月 11～12 日に神戸大学工学部にて開催された。水工学委員会の担当し、A コースのテーマを「都市水害の実態と避難対策」とした。参加者は A コース 109 名(このうち学生が 25 名)、B コース 76 名(このうち学生が 25 名)であった。

2. 水シンポジウム in ふくおかについて (幹事長)

8 月 3～4 日に福岡大学にて開催された。メインテーマは「過去から未来へ 人・水の関わり 福岡からの発信」。第一分科会は水工学委員会の環境水理部会(井芹部会長)が担当した。参加者は 635 名であった。

3. 全国大会時の研究討論会について(立川康人幹事)

「水理・水文解析ソフトウェア統合型共通基盤の活用と総合的な水解析ソフトウェアへの進化に向けて」を 9/3 に開催された。

4. 第 55 回水工学講演会の開催について(東京大学)：世話役 沖 大幹先生・知花武佳先生

2010 年 3 月 8 日(火)，9 日(水)，10 日(木)の期間に東京大学駒場リサーチパーク内生産技術研究所で開催される。特別講演は池田駿介先生と小池俊雄先生にお願いする。また，論文賞受賞者には講演を依頼することが諮られ，了承した。

5. 2011 年度水シンポジウムについて

京都開催 (京都府，京都市，国土交通省関西地方整備局，土木学会水工学委員会) 実行委員長(水工学委員長)，企画部会長(同 幹事長)，企画部会委員(京都大学 立川康人先生)，第 1 分科会担当(藤田一郎 基礎水理部会長)

6. 2011 年度水工学に関する夏期研修会 (海岸工学委員会の担当)について

広島大学(四国支部)で開催される。担当の矢島 啓 先生(鳥取大学)から，2010 年度の研修会時に行われたアンケート調査の結果が報告された。これを踏まえて来年度の企画を考えていくことを確認した。年度末には原案をとりまとめ，4 月には委員会 HP 上で周知できるように検討していく。

7. 第 56 回水工学講演会の開催について

愛媛大学で 3/6～8 の期間に開催されることが確認され、幹事の門田章宏先生(愛媛大学)よりその準備状況が報告された。

8. 土木学会英文論文集について

土木学会英文論文集 JSCE Journal of Hydraulic, Coastal and Environmental Eng.が J-Stage 上で発刊されることになった。B 部門全体を対象とするものとなるが、主として水工学委員会関連の論文が対象となる。これは、海岸工学ならびに海洋開発委員会との協議の上で確認され、これまでの JHHE(Journal of Hydrosience and Hydraulic Eng.)論文からのスムーズな移行を目指す。編集委員会も JHHE 編集小委員会を母体として組織する。年 1 回以上の発行。当面は Selected Paper を主体として編集する。2012 年 5 月からの予定 [(追記)さらに延期されることになった]。

以上